

平成27年度 ユーザー理解活動計画

<p>《平成26年度振り返り総括》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ユーザー理解活動の訴求点である『①リサイクル料金の使われ方』『②ユーザーの自動車リサイクルとの関わり方』について理解活動を継続して推進した。この活動により8割以上の自動車ユーザーが自動車リサイクルの存在を知り、リサイクル料金支払い、引取業者への使用済自動車引渡しといった基本内容についても定着してご理解いただいている。</li> <li>●若者の認知度の向上に向けた取り組みに力点を置き活動した結果、30歳未満の若者の認知度68.9%(平成24年度)が77.8%(平成25年度)に若干の改善傾向が窺われたことを受け、継続して活動を推進した。</li> <li>●本財団ホームページを活用した広報のあり方について消費者から意見を伺い、加えて新車販売事業者並びに容器包装・家電製品などの他リサイクル団体との意見交換を行い、これまでの活動の振り返りを行った。</li> </ul>	<p>《平成27年度活動方針》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●30歳未満の若者の認知度については、前回の調査で若干の改善傾向がみられるものの、引き続き、若者の年代が多い自動車ユーザー予備軍を対象とした広報活動を推進する。</li> <li>●30歳以上の自動車ユーザーについても認知度の低下傾向がみられることから、JAFメイトなど訴求力ある媒体を用いて、自動車リサイクルを幅広く知ってもらうための活動を推進する。</li> <li>●平成26年度に実施した消費者等へのヒアリング結果を踏まえ、自動車リサイクルのコンセプト等をまとめた短編映像を作成し、この短編映像を基に周知活動を展開する。</li> <li>●平成26年度に実施した消費者等へのヒアリング結果を踏まえ、本財団ホームページの改訂について検討を行う。</li> </ul>
---	--

(金額、単位:万円)

活動項目	平成26年度 活動ポイント	予算		予算執行率	平成27年度 活動ポイント	予算(案件)			前年比(対予算)
		計画	見込み			計	継続	新規	
1	<p>ちらし等の媒体制作・配布、広告による周知</p> <p>ちらし・ポスター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●新車販売事業者等とのヒアリング結果を踏まえ、ちらし・ポスターに記載する難解な表現を分かりやすく修正した。</li> <li>●幅広く自動車ユーザーに自動車リサイクルを知ってもらうためにNEXCO東日本のSA/PAにポスター等の掲示を推進した(2~3月実施中)。 ◇サービスエリア/パーキングエリア 29/53カ所(集客数約1,000万人/月)</li> </ul> <p>短編映像制作</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●消費者等へのヒアリング結果、視覚・聴覚による『映像』の方が文書・プロセス図だけの内容より伝わりやすく、また制度制定の背景やコンセプト等のポイントを絞って示すことができることから、平成27年度の映像制作に向けて自動車リサイクル映像に係る台本案を策定する(3月末完成予定)。</li> </ul> <p>広告掲載</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●幅広く自動車ユーザーに自動車リサイクルを知っていただくために購読者数が約1200万部と多く、訴求力のある媒体(JAFメイト等)を用いた広報活動を推進した(3月配本分に掲載予定)。</li> </ul>	1,020	1,164	114%	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自治体、関係団体等を通じてちらし等の配付を継続する。</li> <li>●幅広く自動車ユーザーに自動車リサイクルを知ってもらうためにNEXCO東日本のSA・PAにポスター等掲示を継続して推進する。</li> </ul> <p>◎前年度策定した台本案に基づいて自動車ユーザーの理解促進に資するような映像を制作する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●幅広く自動車ユーザーに自動車リサイクルを知っていただくために引続き訴求力のある媒体(JAFメイト等)を用いた広報活動を推進する(6月・10月実施予定)。</li> </ul>	1,300	860	440	127%
2	<p>ホームページ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●本財団ホームページを活用した「自動車リサイクルの広報のあり方」に係る消費者懇談会を開催(5/22)し、また容器包装・家電製品などの他リサイクル団体との意見交換を踏まえ、これまでの活動の振り返りを実施。</li> <li>●各ヒアリング結果を踏まえ、本財団ホームページの修正計画を変更し、平成27年度中に改訂計画を策定することとした。</li> </ul>	210	60	29%	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自再協及びASRチーム(TH・ART)などの関係者と連携しながら環境イベント(エコプロダクツ等)で情報を発信する。</li> </ul> <p>◎昨年度実施した消費者等からのヒアリング結果を踏まえ、また容器包装・家電製品などの他リサイクル団体の活動例を参考にしながら、ホームページによる情報発信力を高めるためのホームページ改訂計画を策定する。</p> <p>◎知名度が高く、閲覧者数が多い動画サイト[(一例) you tube]等で映像を配信し、また制作映像をより効果的に本財団ホームページに配置する。</p>	230	0	230	110%
3	<p>イベント出展・参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●自再協及びASRチーム(TH,ART)などの関係者と連携して環境イベント(エコプロダクツ)に出展・参加。3,416人(昨年度2,896人)の来場者に対応した。</li> </ul>	600	580	97%	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自再協及びASRチーム(TH・ART)などの関係者と連携しながら環境イベント(エコプロダクツ等)で情報を発信する。</li> </ul>	600	600	0	100%
4	<p>自動車教習所での活動</p> <p>運転免許学科教本への掲載</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●30歳未満の若者の認知度が低い傾向(平成24年度;68.9%)にあることを踏まえ、新たに自動車運転免許を取得するために自動車教習所に通う方々の8割以上が18歳から25歳の若者である状況であることから、彼らが使用する運転免許学科教本約82万部に自動車リサイクルの取組みの広告を掲載し周知を図った。</li> </ul> <p>映像配信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●自動車リサイクルを紹介する映像を自動車教習所で配信した。 ◇全国教習所約300校、8月・3月実施予定</li> </ul>	1,300	1,326	102%	<ul style="list-style-type: none"> <li>●30歳未満の若者の認知度が低い傾向(平成25年度;77.8%)にあることを踏まえ、継続して若者の認知度向上に向けた活動を推進する。</li> </ul> <p>(活動休止) 運転免許学科教本への広告掲載が定着してきたため、活動を休止する。 当該予算を短編映像の制作費に充当する。</p>	1,000	1,000	0	77%
5	<p>認知度調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●3ヵ月以内に自動車を購入した方に認知度調査を3月に実施する予定。</li> <li>●併せて自動車リサイクルに関する要望・意見を聴き、次の活動に反映したい。</li> </ul>	110	110	100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>●引き続き認知度調査を実施する(平成28年3月予定)。</li> <li>●併せて自動車リサイクルに関する要望・意見を聴き認知状況を確認する。</li> </ul>	110	110	0	100%
合計		3,240	3,240	100%	合計	3,240	2,570	670	100%

◎は平成27年度新規案件